

[連載] 第4回

清々しき人々

月尾 嘉男 (東京大学名誉教授・工学博士)

日本が東洋の英国になることを期待した教師・ヘンリー・ダイアー



ヘンリー・ダイアー (1848-1918)

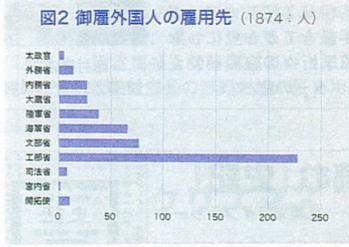
人材育成の学校創設

嘉永六(一八五三)年、マシュー・ペリーを司令長官とする四隻のアメリカの軍艦が浦賀に...

スコットランドから教師を誘致

このような事態から、世界の情勢を把握する必要があることを痛感した幕府は...

初、外人を排斥する攘夷論派でしたが、西欧との格差を現地で見聞して開国論派に転向します。



八七二年から八年までの二七年間、政府の雇用が約六二〇〇人、民間の雇用が約一万二五〇〇人になって...

取して開成学校を設立、翌年には兵部省が陸軍士官学校の前身となる兵学寮を創設して...

この技術の分野で、もうひとつ重視されたのが自前の人材を養成することでした。

10代のキミへ いのち・愛・性のこと 監修 高橋貞二郎 (中高教師)

10代のキミへ いのち・愛・性のこと 監修 高橋貞二郎 (中高教師)

クリスマスとよばれた男の子 西村書店

クリスマスに贈る100の言葉 女子パウロ会



図4 工部大学校

二五歳の一八七三年にイギリス南部の港湾都市サザンプトンを出発した。教師は土木を担当するダイアー以外に、物理のウィリアム・エートン、化学のエドワード・ダイバース、冶金のエドワード・モンディ、建築のジョサイア・コンドル、鉱山のジョン・ミルンなどでした。

これら教師への明治政府の期待は支払った月給に反映していません。ダイアーは六六〇円、エートンは五〇〇円、コンドルが三五〇円と記録されています。現在の貨幣価値への換算は容易ではありませんが、当時の総理大臣の月給八〇〇円を現在の総理大臣の月給二四〇万円と比較して計算すると、ダイアーの月給が二〇〇万円、エートンが一〇〇万円に相当します(図3)。

いよいよ一八七五年に授業が開始され、七七年には工部大学校に改称され、都心の千代田区霞ヶ関三丁目壮麗な校舎が完成します(図4)。七八年七月一日に明治天皇の臨席のもと、内務卿伊藤博文、工部大学校長大島圭介が出席して開校式が挙行されました。そのときのダイアーの答辞は「貴国無限の物産に因って公衆の便益を興すべき工師を教育し(中略)公私の工事を管理し、後進の先導となり貴国歴史に新彩を添える人材を

図5 御雇外国人の国籍 (1881-98:人)

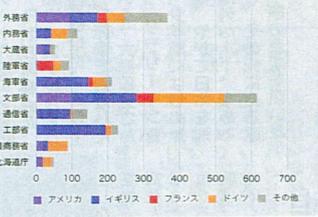
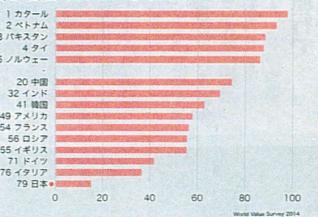


図6 自国のために参戦するか (2010-%)



輩出する」という内容でした。この言葉が象徴するように、ダイアーが目指していた教育は実学でした。これはスコットランドの教育の特徴でもある「エンジニアの思想」で、明治政府の期待にも合致する目標でした。明治政府は自国の目標に類似する最速の国家を中心に御雇外国人を雇用していました。要約すれば、外交はアメリカとイギリス、陸軍はフランス、海軍はイギリス、教育はドイツ、工学はイギリスを中心としていました。それは各省の内訳で明瞭です(図5)。

ダイアーが期待した 東洋の英国

ダイアーは五年の契約期限を延長して二年六月一日に辞職して帰国するまで足掛け一〇年間、滞在しました。それは日本の学生が熱心に勉強し、優秀な成績で次々と卒業していくことに感動したことが第一の理由です。合計二一一名が卒業しています。建築の辰野金吾、片山東熊、化学の高峰譲吉、下瀬雅允、土木の石橋純彦、田邊朝郎、渡辺嘉一、電気志田林三郎、藤岡市助など、日本の産業の基礎を構築した人々が卒業しています。第二の理由は日本が自由民主の気風をもつ東洋のイギリスとして成長してほしいという願望

でした。それを表明したのが、帰国してから執筆し、一九〇四年に出版した『大日本』という大部の著書です。ここには日本の歴史、精神、教育、軍事、外交、通信、産業、貿易、財政、外交などについて百科事典のような解説がなされていますが、書物の副題が「東洋のイギリス」となっているように、自身の日本への期待を表現した書物です。そこで追求したのは、日本の若者が必死で勉強する理由の解明でした。当時の世界最高の大学を優秀な成績で卒業したダイアーの心境は東洋の発展途上の島国に赴任するという程度の気持ではなかったかと推測しますが、それを見事に裏切ったような学生の熱意の本質を解明したのが「欧米の科学、工業、商業を導入しよう」と決意した動機を可能なきが追求し確認する必要がある」という言葉です。

その回答をダイアーは新渡戸稲造が一九〇〇年に英文で出版した『武士道』に発見して引用しています。「明治維新のようになっては、一大事業を推進する動機となったのは、物質資源の開発や国富の増進ではない、ましてや西洋の習慣の模倣を追求するでもない。(安政不平等条約を締結して)劣等国として見下されることは耐えがたいという名譽を重んじる気持こそが最大の

動機である」。この名譽こそがダイアーが確信した回答だったのです。

『大日本』の原稿が完成した直後の一九〇四年二月に日露戦争が勃発し、ダイアーは急速に補導した日本への愛着を割引いても、日本が勝利することを表明し、その理由として日本の将官が将棋の指手のように戦略を熟考していることを賞賛するとともに、日本国民の愛国の精神が技術や戦略以上に勝利に貢献することを強調しています。「武士道」からの引用と共通する見解です。

現在の日本には、この精神が欠如していると憂慮されます。世界の研究機関が共同で実施する調査に「戦争が発生したら自国のために参戦するか」という質問がありますが、日本は最低位で五分程度しかありません(図6)。戦争の是非はともかく残念な数字です。映画『ラストサムライ』は「日本は一握りの勇者によって創造された」といわれる。彼等が生命をかけてもつたものは、現在では忘却されつつある言葉「名譽」という言葉で開幕します。

再度評価すべき **ダイアー**

日本政府はダイアーが帰国するときに勲三等を授与していますが、札幌農学校に一年も滞在しなかったウィリアム・クラークに比較し、一般に周知されていません。それは伊藤博文が岩倉使節団の副使として一八七二年にドイツ帝国でビスマルク宰相に会って感激し、さらにビスマルクの指南を説いたロレンス・フォン・スタイン教授に八二年に面会して感化され、教育方針をイギリス方式からドイツ方式に変更したことが影響

ダイアーは更新した契約の終了より一年前の八二年に辞任して帰国しますが、その背景には明治一四(八二)年の政変により、イギリスの議院内閣制憲法の憲法が採用されたことにより、日本に期待していた東洋のイギリスが遠退き、イギリス方式の教育が否定されたことの影響と推測されています。しかし日本の産業の発展に寄与した多数の人材を育成したダイアーは再度評価される必要があります。



つぎお よしお

中学生に行った授業の書籍化だから、わかりやすい!

池上彰の世界の見方

知れば知るほど、面白い中国。

「反日」「反中」を鵜のみにしない! 難解な中国を、池上視点で徹底解説!

中国・香港・台湾 分断か融合か

定価: 本体1,400円+税 四六判・240ページ ISBN978-4-09-388504-1

池上彰の世界的見方 好評既刊

アメリカ ナンバーワンから退場か

定価: 本体1,400円+税

池上彰の世界的見方 好評既刊

アメリカ ナンバーワンから退場か

定価: 本体1,400円+税

文豪に学ぶ 手紙のことばの選びかた 中川越著

二度読みたくなる手紙こそが、まぎれもなくよい手紙

四六判・並製・216ページ 定価1,400円(税別)

決まりことは大事だけれど、かの文豪たちだっていつも格式ばった手紙ばかりを書いてはいたわけではない。大事なのは「キモチ」を伝えること。是非とも本書に収録した漱石や鴎外、芥川や太宰たちの珠玉の手紙のことばから「気持ち」を伝える極意」を学んでみて下さい。

東京新聞出版部

〒100-8505 東京都千代田区千代田内幸町2-1-4 中日新聞東京本社 TEL: 03-6910-2527 http://www.tokyo-np.co.jp/book/

随縁つらつら対談

積徹宗 宗教学者 相愛大学教授 如来寺住職 著

宗教学者 積徹宗と、池上彰・井上雄彦・みづじゅん・香山リカ・篠原ともえ 他8人の個性派たちが織りなす、軽妙にして深遠なおしゃべりを綴った一冊。

随縁つらつら対談

宗教学者 相愛大学教授 如来寺住職 著

池上彰・井上雄彦・みづじゅん・香山リカ・篠原ともえ 他8人の個性派たちが織りなす、軽妙にして深遠なおしゃべりを綴った一冊。

四六判・並製 本体1,400円+税

本願寺出版社

0120-464-583 075-341-7753

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下川(西本願寺) http://honwanji-shuppan.com/

発送梱包手数料別(税込3,000円以上は無料)